

経営比較分析表（令和3年度決算）

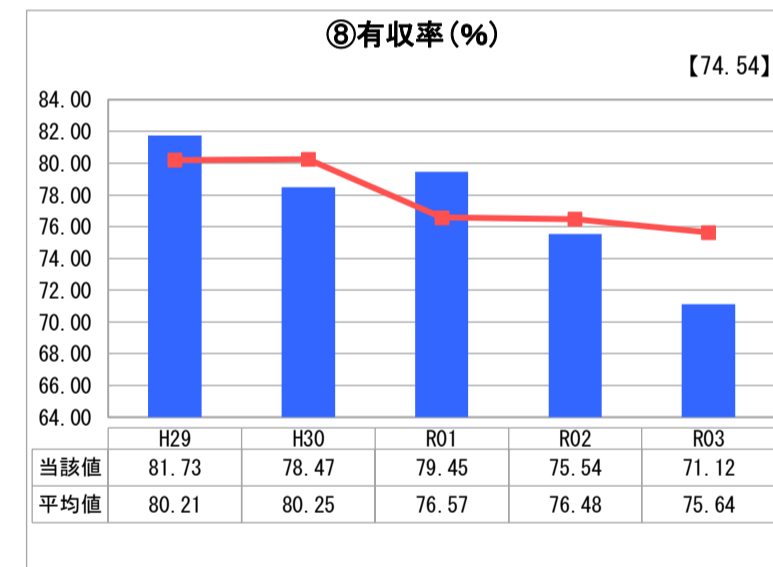
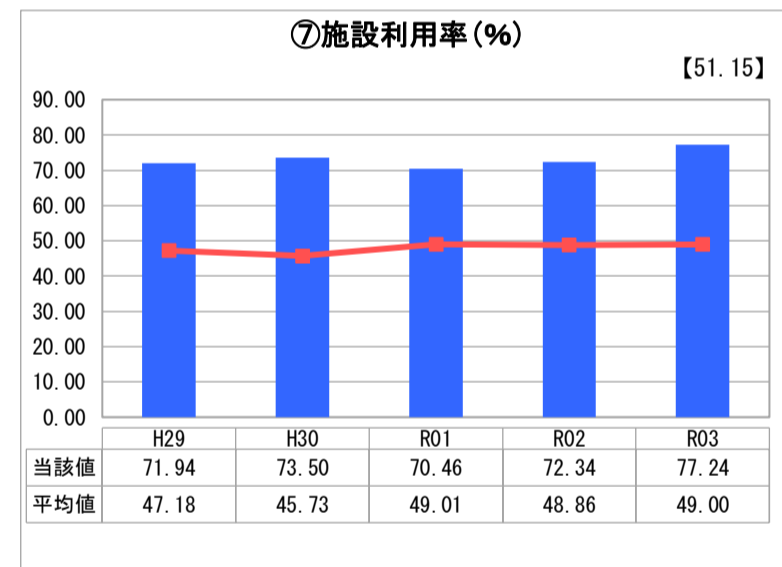
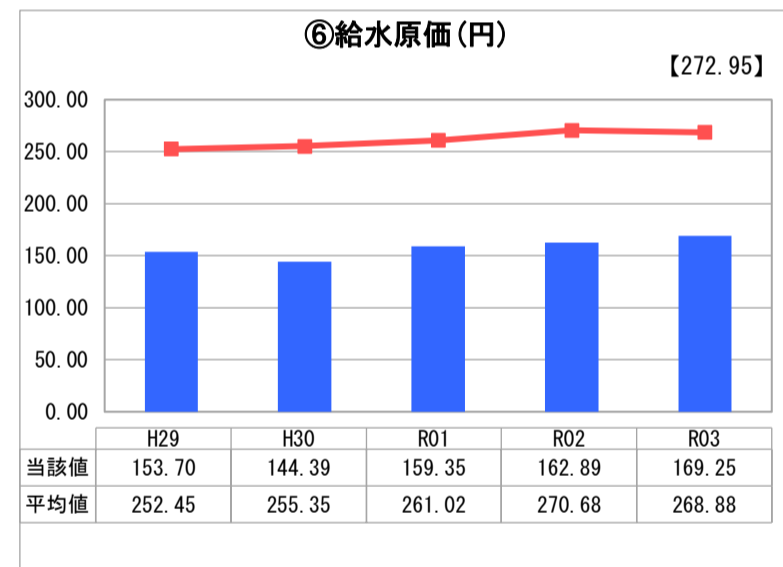
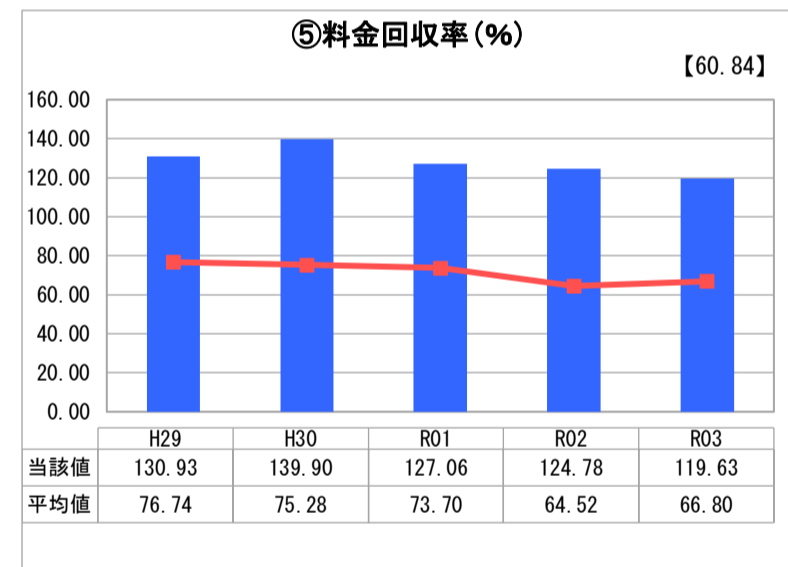
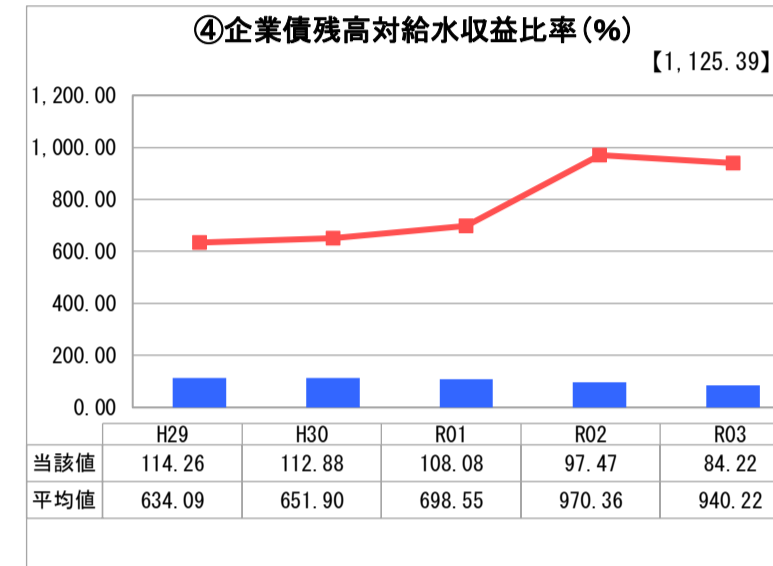
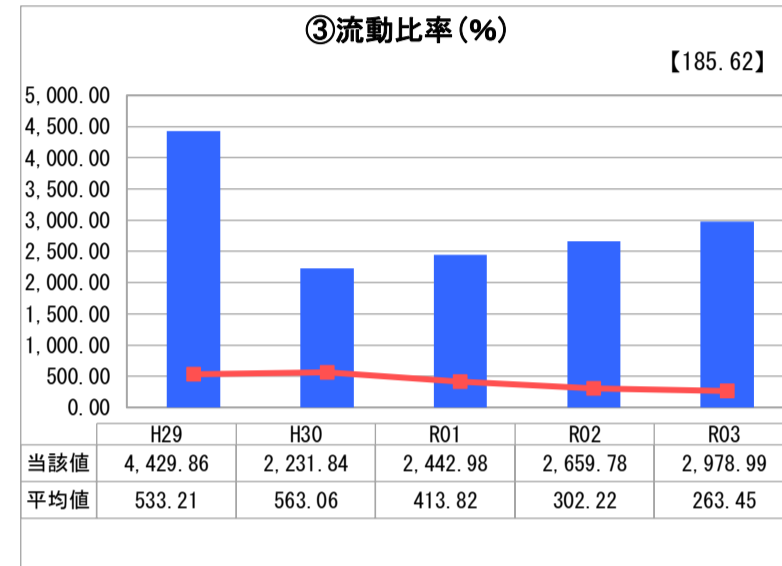
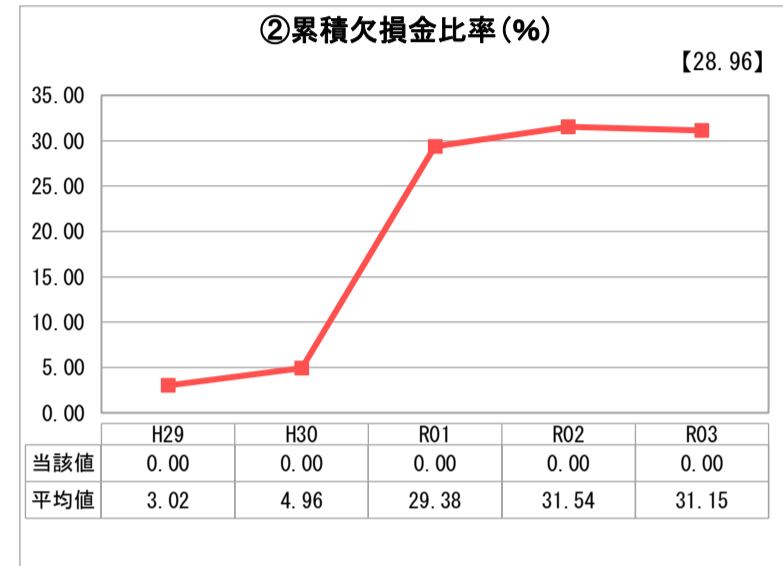
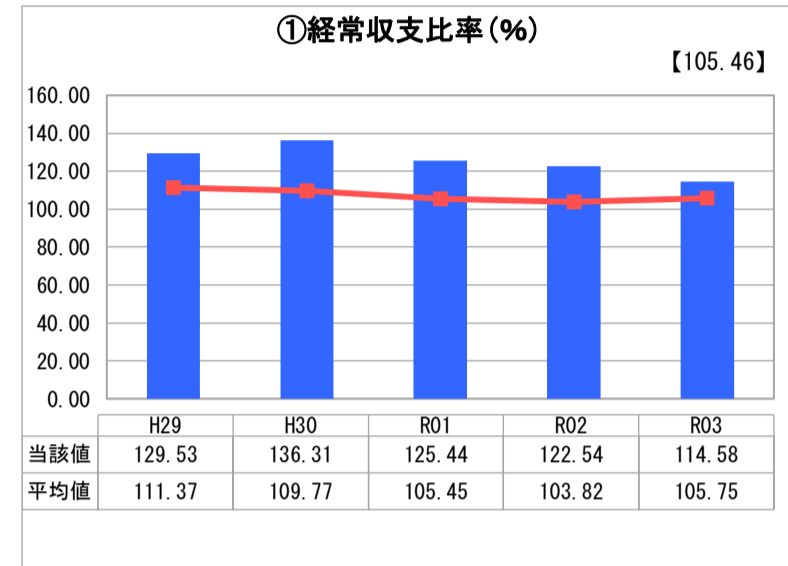
北海道 美深町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	96.79	90.15	4,190	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,991	672.09	5.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,553	23.10	153.81

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

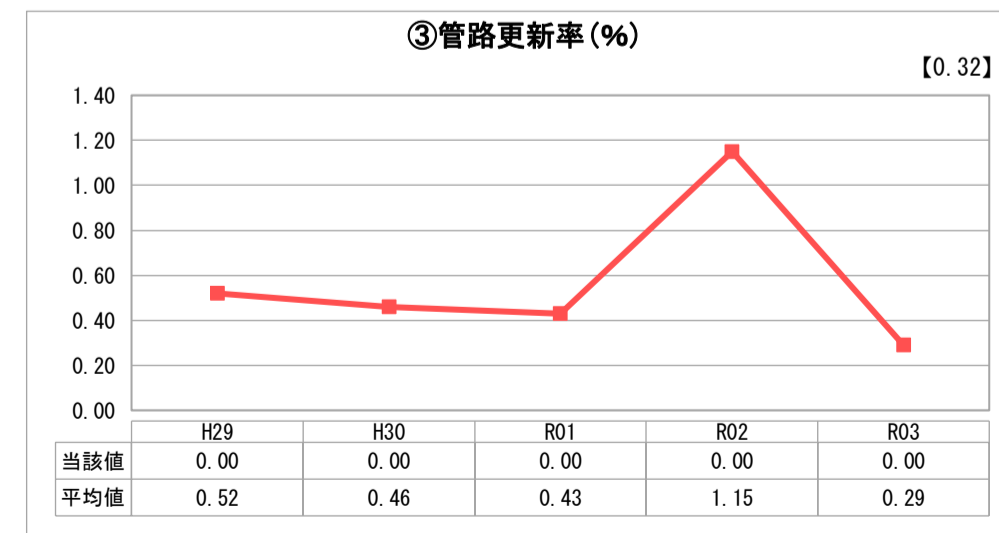
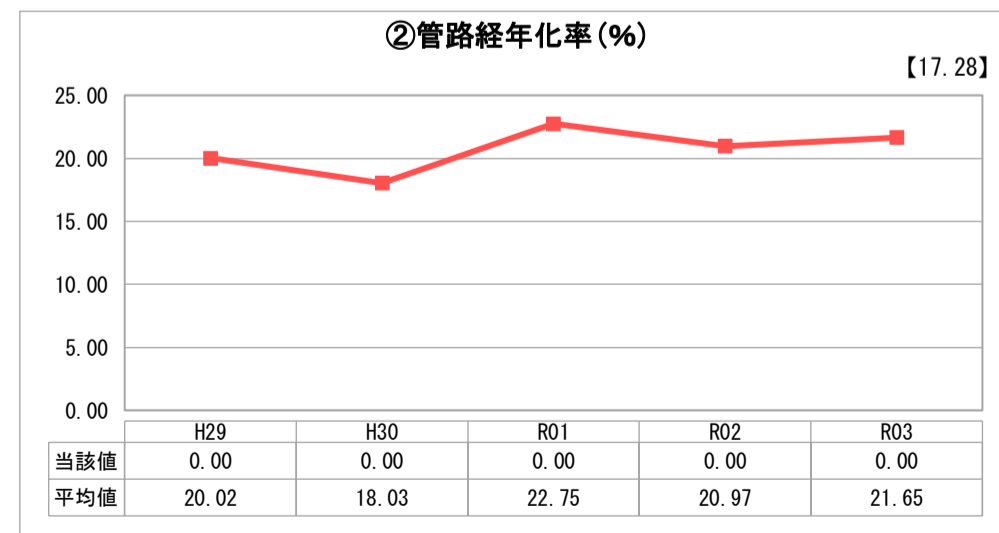
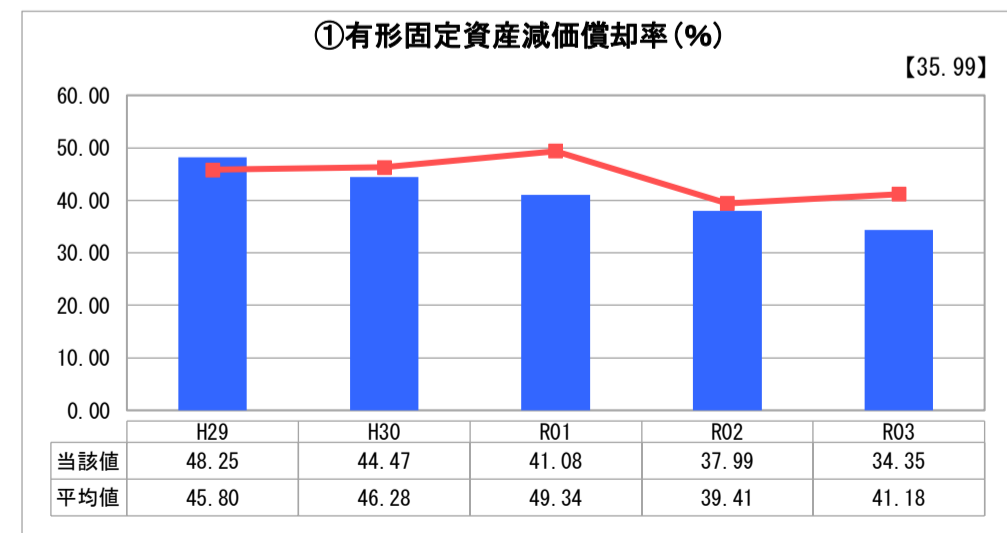
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%以上を確保しており健全な経営が伺えるが、引き続き経常経費などの節減といった取り組みを継続していく必要がある。累積欠損金比率については計上がないことから、健全な経営状況であると言える。流動比率については、100%を上回っており資金繰りが安定していることがわかる。企業債残高対給水収益比率についても類似団体平均以下であり、自己資本調達度が高いことがわかる。料金回収率についても100%を上回っていることから、料金の収益性が良いことがわかる。給水原価については、類似団体平均値以下であり、浄水にかかる費用が少ないので良い傾向である。施設利用率については、類似団体平均値以上であり、施設利用の効率が高く良い傾向である。有収率については、昨年度より数値が低下しており悪い傾向である。今後は定期的に漏水調査を行うなど、有収率向上に向けた取り組みを強化していかなければならない。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、道営農業農村整備事業により整備された管路やポンプ場等の受贈財産が増えたため、率が若干下がっている。しかし、市街地の配水管等について耐用年数が経過した管路が増えてきていることから、計画的な更新工事を実施するためにも、財源の確保等に留意しながら事業を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

全体として経営状況は非常に良好であるが、有収率が低下してきていることから、定期的な漏水調査実施により有収率の向上に努めていかなければならない。また、管路の更新事業に要する財源等について将来収支を試算したうえで、それらの負担に耐える適切な使用料金の設定を検討していく必要がある。